

## 7月 定例山行 鯛ノ巣山 (1020m)

島根県阿井町

7月11日(日) ☆天候 雨

参加者 18名 CL宮木(澄) SL円山

花房 田所 島田 坂井 若林 佐々木 宮木(一) 三浦 滝

三重(成) 三重(典) 藤本 西本 中島(美) 早川(佐伯) 國田(会友)

コースタイム：広島駅北 7:20⇒県庁北 7:30⇒広島 IC⇒庄原 IC⇒仁多町三成⇒

駐車場・登山口 10:30～五合目付近・折り返し 11:12～11:45 登山口へ

(食事)12:40⇒可部屋集成館見学 13:30⇒庄原 IC⇒広島 IC⇒16:00 県庁北



### 報告

梅雨の時期、朝から雨が降っている。遠方のバス移動なので西本さんに歌とナゾナゾゲームをお願いして車中を楽しく過ごす。鯛ノ巣山につき駐車場でトイレ休憩をするが雨と風がひどくなり、登山を中止にするかどうかCL, SLの判断が必要になる。登山に来たのだしとにかく危険のない三合目鯛流水までは行ってみようか決断。山に入ると雨も風もあまり気にならず徒渉もスムーズにいったが、リュックはバスに置き水だけ持って登っていたため五合目付近で折り返し下山した。下山時は雨のため滑り

やすくなっていた。登山口でバスに乗り、トイレのある下の駐車場まで移動し車の中で昼食をとる。時間があるので可部屋集成館(出雲地方の製鉄の歴史の一端がのぞける施設)を見学したが入場料のわりに得る物があまりなかった。今回リーダーをして感じたことはCL, SLの決断したことが正しかったか?参加した人が納得して下さったか。急に決めた近場の資料館見学はどうだったか?雨天決行もいいが風雨の時はどうすればいいのだろう。(記 宮木澄代)